

# 舟橋のみなさまへ

平成20年3月29日

表舟橋 井上研一 井上俊子

私たちは、縁あって20年前に表舟橋に家を建て、本津幡駅前から引っ越してきました。緑豊かで田畑に囲まれ、静かなこの舟橋が大好きです。しかし、舟橋が多くの皆さんの賛成により、ギャンブル場誘致を決めたと知った時、本当に驚きました。私たちはギャンブル場建設には反対です。町にお金が入る！舟橋区にもお金が入る！と聞きました。しかしそのお金を得るためにギャンブル場をつくるのが、この津幡町のためになる、舟橋区のためになる、わが子や孫のためになるとはどうしても思えないのです。

書記の池田さんの話では、H17年5月21日の説明会で舟橋区125世帯中、出席者41人、そのうち36人が賛成、3人が反対、2人保留、65の委任状、19世帯欠席で決まったそうです。当然、委任状すべてが賛成になっているでしょう。でも、委任状を出された65人の方々は本当に心から賛成なののでしょうか？

区長や書記は、「説明会にも来んと自分で委任状を書いたくせにいまさら反対するな」と言います。確かに私は、委任状を書きました。でもあの時は、ポートピアがギャンブル場だとは知らず、河北潟に家族で楽しく過ごせるよい施設ができると思いました。詳しい説明はありませんでした。委任状を出した65人の方々は、すべてを詳しく知っていて委任されたのでしょうか。なかには「反対だから…」と言ったのに「それでもいいから名前を書いて」といわれて書いた人々もいます。その人たちの委任状はちゃんと反対になっているのでしょうか。

舟橋で誘致を決めた1年半後、署名集めをしましたが、その時ですら、私と同じで「何それ？」「どこにできるの？」「なーんもしらん」という人たちが結構いました。区長の言うように「回覧を見んのが悪い」「説明会に来ん者が悪い」ではすまされません。時間をかけて、地元の人たちに周知徹底しなければならないという説明義務が果たされていないと思います。「反対の声が上がらんように、わざと言わんようにしとるがや」「秘密に進めたいがや」という声がありますがその通りのように思われます。

私は、区長に「委任状を書いたのは間違いだったから返してほしい」と頼みました。しかし「一度出したものは返せない」と断られました。それならどのような経緯で誘致が決まったのか知りたくて「議事録を見せてほしい」と何度も頼みましたが、「役員会で見せないとした」と断られました。役員とはポートピア推進委員のことですか？区で決めたことを区の者に見せられないというのはどういうことでしょうか。ルールにのっとって決め、やましいことがないのなら正々堂々と見せるべきだと思います。

## 集会場の使用について

この3月21日に舟橋第2会館（表舟橋）でボートピアについての説明会（賛成でも反対でもざっくばらんに話せ、できれば業者も呼んで質問できる会）を開く計画を立てました。できるだけたくさんの方々に参加してほしいと思いました。私は、表舟橋に住んでいるので副区長さんをお願いしたところ、快く承諾して下さいました。

ところが、次の日、橋本区長の考えで断られました。「ボートピア」に反対しているから使わせないということです。

あの会館は、誰もが気軽に使える施設として、みんなでお金を出し合い、町からの補助金もあって建てたと聞きました。ボートピアに賛成しなければ貸してもらえないのですか？考え方が違うから使わせないというのはおかしいのではないのでしょうか？

私は表舟橋に住んで20年、ずっと万雑も払っているし、掃除にも行っています。集会場は、みんなのためにあると思っていましたが、舟橋は違うのでしょうか。残念でたまりません。

（井上俊子）

# 舟橋の皆様へ

平成20年3月29日

市民グループ「風」

津幡町で大きな問題になっているボートピアについて、以前にも皆様にお手紙を差し上げましたが、よりいっそう、深刻な状況になってきました。

今年1月、施行者となる、群馬県みどり市の市長一行が初めて津幡町を来訪し、舟橋区長、町幹部、数名の推進議員と会談しました。みどり市では、津幡町も地元も、ボートピアを大歓迎していると、市議会に報告しています。津幡町は、この3月中にもみどり市と行政間協定を結び、できるだけ早くギャンブル場をつくりたいとしています。

しかし、このボートピアは、平成17年5月に舟橋で開かれた「ボートピア説明会」で示されたものとは、かなり違った内容になっていることをご存知でしょうか。いつの間にか営業日数が300日から360日に増えていたり、ナイター営業をするようになっています。地元採用は約80名ほどと言われていましたが、どこまで本当か分かりません。

また、町に2400万円入るといわれていますがなんの保証もありません。実際、青森の「ボートピアなんぶ」は大赤字で、当初4000万円だったのに今は730万円に落ち込んでいます。

村町長は、運営会社のグットワンに一切を委任する、みどり市に責任を負わせる、と言っていますが、みどり市は一切の責任を負わないと言っています。説明会を開くよう、何度も議会に請願が出されていますが、町は「説明会を開くつもりはない。」との返事です。

予想される交通渋滞、水害、環境悪化に対してどんな対策を考えているのかや、防犯についての具体的な説明はありません。ボートピア運営による苦情や補償、いろいろな問題が生じた場合、いったい誰が責任を取ってくれるのか。不安は大きくなるばかりです。

ボートピアとはどんなものなのか、できたらどうなるのか。私たちが抱えている不安や疑問が少しでも解決できるよう、運営会社にも声をかけて、なんとか皆さんと一緒にこの舟橋で説明会を開きたいと計画しましたが、集会場が使わせてもらえず、実現できませんでした。本当にこのままでいいのでしょうか？このままギャンブル場を作ることが、舟橋の皆さんの総意なのでしょうか？

区が決めたから「いまさら反対できない」とあきらめている皆さん、本当にギャンブル場をつくるのが良いことなのか、もう一度よく考えてください。大臣だって知事だって悪いことをして謝ったり、辞めたりしている時代です。区で決めたから、町長や議会が決めたから良いことなのだと思わずに、もう一度、お子さんやお孫さんも一緒にご家族できちんと話し合ってみてください。子供たちが望んでいることでしょうか。オープンまでにまだ2年以上かかると言われています。国土交通省の許可もまだです。まだまだ遅くはありません。今一度、真剣に考えてください。お願いします。